

**コンゴ(民)経済情勢
月例報告
2017年8月**

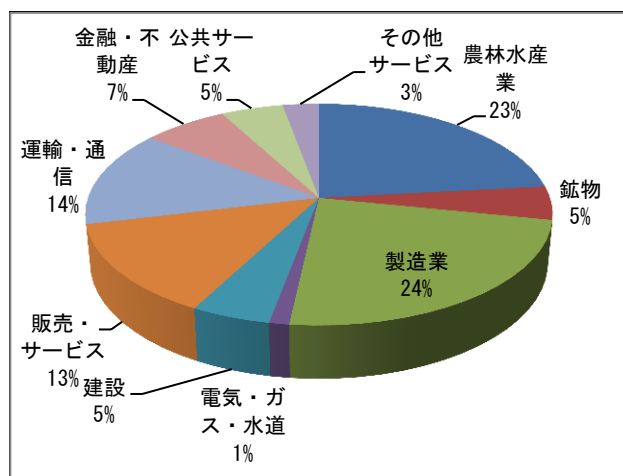
主な出来事

- 8月11日大統領主催の第4回閣議において、政府は、脱税や密輸を撲滅するための5つの政策(国境付近での不法な税徴収・行政サービスへの対価支払いの停止、汚職の温床となっている異なる行政サービス間の単一税率による税徴収とその透明化、鉱物関連企業への輸出利益の40%の国庫への還元、国境管理、国営農場への財政支援)を決定。
- 8月13日、ブッサ貿易大臣は、ティラピア(淡水魚)が致死ウィルスを蓄積している旨の国連食糧農業機関(FAO)からの衛生上の勧告に基づき、コロンビア、エクアドル、エジプト、イスラエル及びタイからの同魚類のコンゴ(民)国内への輸入及び販売を禁止した。
- 8月25日、ブッサ貿易大臣は、コンゴ(民)西部地域において、アンゴラ等の近隣国からの製品流入により自国産品の価格が相対的に低下しているビール、炭酸飲料、鉄材、セメント、医療用品等の輸入を6か月間禁止することとした。

	主なマクロ経済指標	2016年	2017年8月
1	人口(百万人)	74.88 (2015)	-
2	失業率(%)	NA	-
3	実質 GDP(百万コンゴ・フラン)(ドル額未発表)	11,257,240	-
4	名目 GDP(百万コンゴ・フラン)(ドル額未発表)	488,146.	-
5	一人当たり GDP(ドル)(推定値)	488.15	-
6	GDP 成長率(%)	2.5	-
7	インフレ率(%)	4.88	8.1%(7月)
8	貿易収支(百万ドル)	-204.11	-
9	輸出(百万ドル)	9,917.33	-
10	輸入(百万ドル)	10,121.44	-
11	対外直接投資(百万ドル)	305.98	-
12	対内直接投資(百万ドル)	1,182.94	-
13	外貨準備高(百万ドル)	875.81	730.30 (7月) (3.21 週間)
14	対外債務残高(百万ドル)	4,136.59	-
15	為替レート(対ドル)	1,061.24	1,647.81 (6月)
16	主要政策金利(現行, 年利%)	7.00	20.00

(2016年データ出典:コンゴ(民)中央銀行および世銀)

GDP セクター別構成比(2015年)



(出典: OECD African Economic Outlook 2015)

経済

1. 市場（鉱物・資源関係）

（1）ガソリンスタンドでのガソリン販売価格横ばい

7月31日、ジョセフ・カピカ・ジ・カング国家経済大臣は、ガソリンスタンドでのガソリン販売価格は1,730フラン／リッターで一定する見込みである旨述べた。政府は、石油業者との間で、石油の市場価格に応じて、付加価値税等を一定期間還付することを合意した。（2日付けACP）

（2）鉱物資源企業の輸出に係る付加価値税の再導入

12日、コンゴ（民）政府は、2016年7月に政令で決定した同国内の鉱物資源業者に対する輸入時の付加価値税免除措置を取りやめる決定をした。同国内で活動する外国企業の多くも同措置の対象に含まれている。（14日付けMediacongo.net）

（3）露天両替商に係る規制

15日、コンゴ（民）中央銀行（BCC）は、露天両替商組合の代表らとの会合を開き、露天での営業をやめ、店舗営業をするよう求め、併せて、営業認可に係る手数料20%を含む2,500ドルの担保設定を命じた。同担保は、廃業しない限り還付されない。現在、コンゴ（民）国内で営業している両替商のうち、営業認可を受けているのは20数店舗程度。（17日付けACP）

2. 公共事業等（エネルギー・交通・インフラ・金融・製造等）

（1）コンゴ（民）・韓国・国立農業振興センター計画の開始

3日、KOICAを通じて韓国が財政支援している国立農業振興センター計画の開始式が開催され、3日、カザディ・コンゴ（民）農業大臣らコンゴ（民）要人が出席した。今後、2021年までに800万ドルが投じられ、コンゴ（民）における農業振興に係る人材育成が図られる。（11日付けLe Potentiel）

（2）韓国によるコンゴ（民）エネルギーセクターへの1億ドル支援

25日、韓国の「グローバルトレード・アンド・ファイナンス（株）」代表団がチバラ首相を表敬し、韓国・コンゴ（民）官民協力の枠組みで、コンゴ（民）のエネルギーセクターに1億ドルを投資する用意がある旨表明。また、韓国側は、道路、鉄道、住宅建設、並びに、鉱山資源開発の分野で協力したい旨発言。韓国は、これまでルブンバシにおける鉱山開発に5,000万ドルを投資している。（28日付けACP等）

3. 財政・マクロ経済・行政など

（1）公金横領、汚職、脱税等の不正事案

4日、ルゾロ大統領府グッドガバナンス担当特別顧問は、検事総長宛に汚職

事案 14 件に係る書簡を送付した。書簡には明記されていないものの、政府高官、コンゴ（民）政治家、外国人政治家、並びに、コンゴ（民）中央銀行関係者の本事案への関連性が疑われている。（14 日付け Le Potentiel）

（2）ルアラバ州コルウェジ職業訓練学校における職業訓練施設開所

8 日、中国専門家集団、マツク・コンゴ（民）労働・雇用・社会保障大臣、チクヤ・コンゴ（民）職業訓練機構（INPP）総裁は、中国・コンゴ（民）協力の枠組みで、近々、INPPコルウェジ校を開所する旨発表。工期と建設コストはFS調査後に判明。（9 日付けACP）

（3）旧カタンガ州境における輸出禁止措置の解除

21 日、アンバトベ・環境・持続開発大臣は、21 日、赤色木材の不法売買等を理由に5月3日以来停止されていた旧カタンガ州における輸出禁止措置を解除した。環境大臣によれば、不法売買を未然に防止するための措置が可能となったので、今後、赤色木材の輸出及び売買には、環境・持続開発大臣の認可の事前取得が必要となる。（24 日付け Le Potentiel）

（4）金融政策委員会（CPM）

BCCは第7回金融政策委員会（CPM）を催した。発表されたマクロ経済指標以下のとおり。（7 日付け la Référence Plus）

2017年経済成長率予測

4. 9%

インフレ率（7月）

8. 1%（6月：7. 4%）

財政収支（7月）

990. 6億コンゴ・フランの黒字

為替率（7月末）

銀行間レート 1, 565. 97CF/ドル

市中間レート 1, 582. 33CF/ドル

外貨準備高（7月）

7億3, 003万ドル（3. 21週間分）

政策金利

20%

準備率

外貨	短期	13%
	長期	12%
内貨	短期	2%
	長期	0%